

条件反射制御法 講義 4

条件反射制御法の基本とステージ進行 重要図

条件反射制御法 (CRCT) の基本

1. 第一信号系に働きかける

1) 行動の**方向**を司る反射連鎖

2) 行動の**駆動**を司る反射

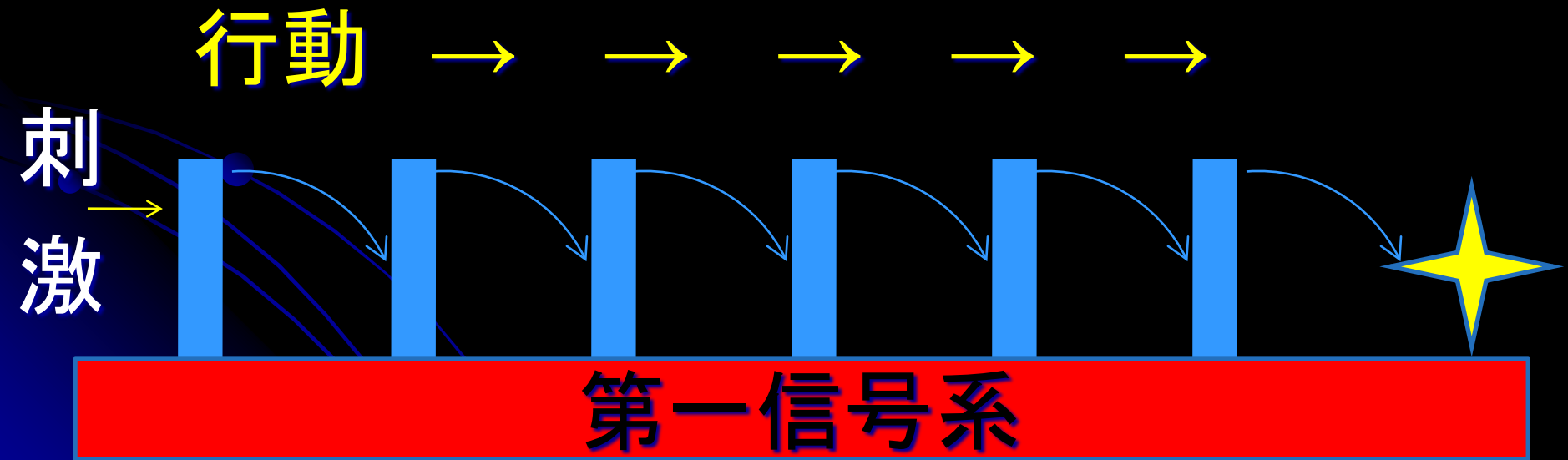
2. 用いる特性

生理的**失敗**行動の再現性は**低下**する

生理的**成功**行動の再現性は**上昇**する

第一信号系に対して

1. 標的: 1) 特定の反射連鎖
2) 共通の高い駆動性
2. 作用: 1) とめる 2) 弱める。



条件反射制御法のステージ進行

1. 制御刺激stage

方向性に作用

制御刺激

駆動性に作用

2. 疑似stage

疑似、制御刺激

3. 想像stage

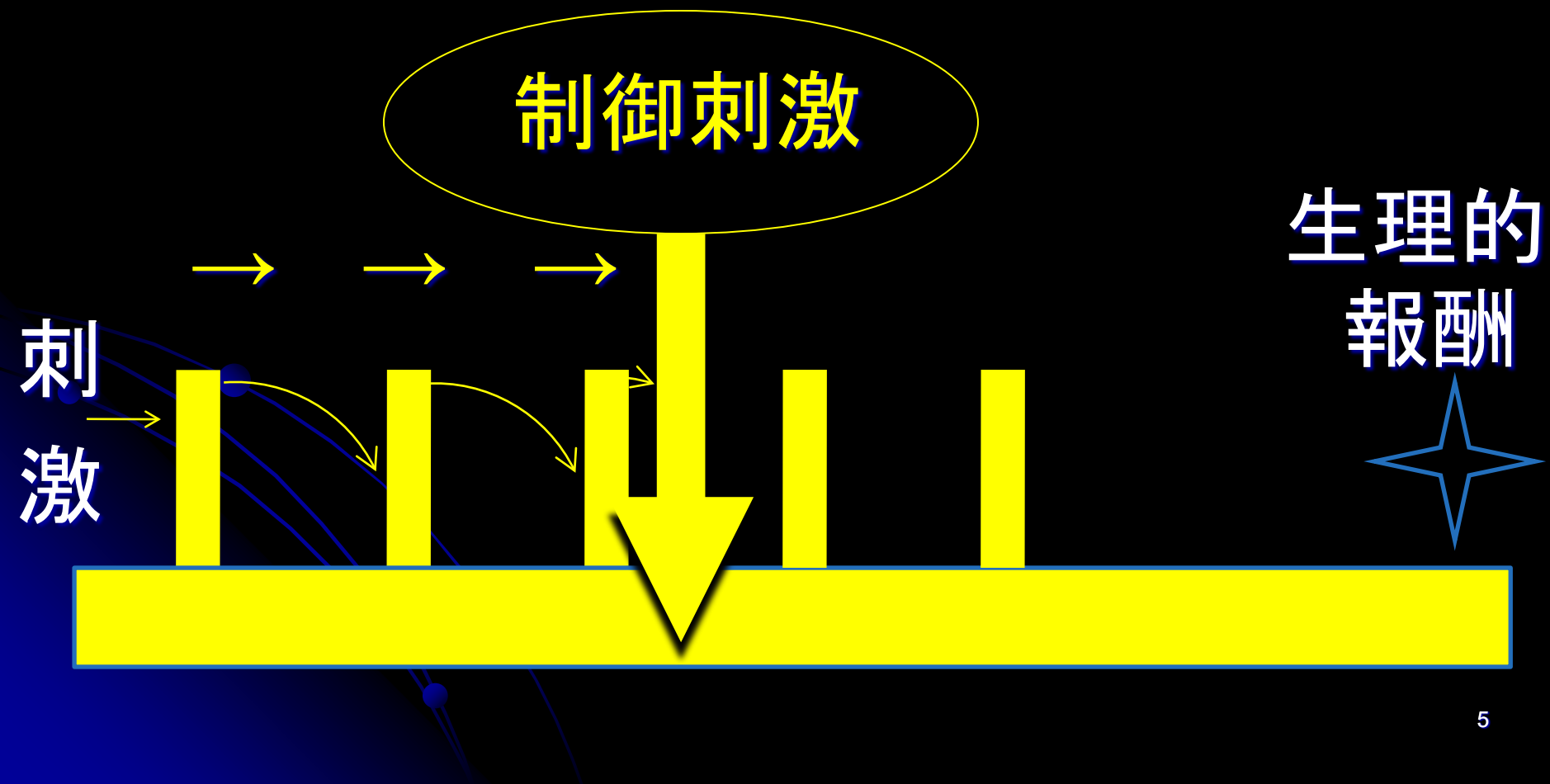
想像、疑似、制御刺激

4. 維持stage

想像、疑似、制御刺激

体験の書き出しと
読み返して20単語
書き出し

(任意の刺激+報酬なし) × 反復



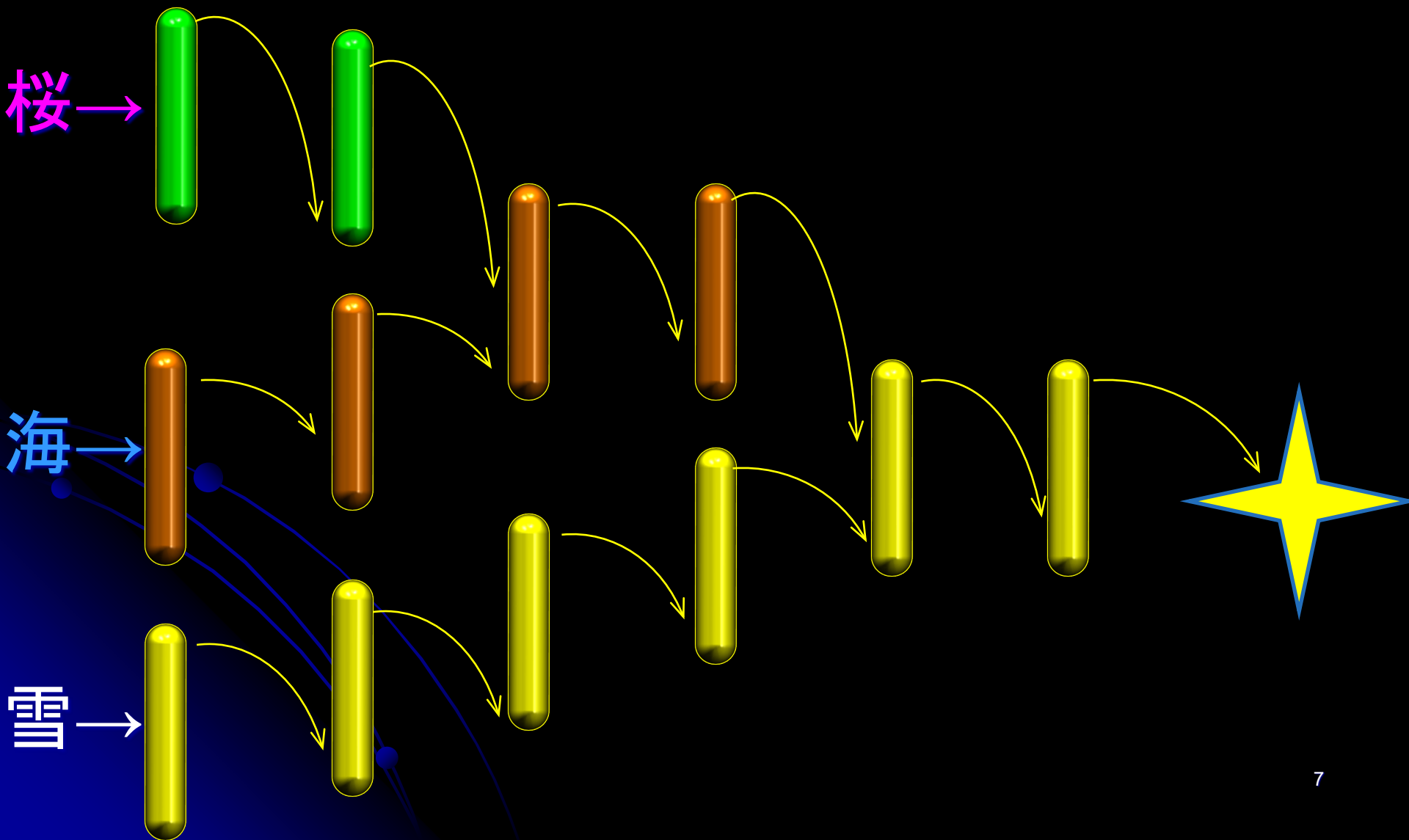
抑制の対象



刺激



報酬獲得行動を成立させる 複数の反射連鎖



条件反射制御法のステージ進行

1. 制御刺激stage

毎日, 制御刺激20回

2. 疑似stage

毎日, 制御刺激5回, 疑似20回

3. 想像stage

毎日, 制御刺激5回, 疑似2回, 想像20回

4. 維持stage

毎日, 制御刺激5回, 疑似2回, 想像2回

週に1度、問題行動の描写文を読む

条件反射制御法のステージ進行

1. 制御刺激stage

良かった事の書き出し100話

2. 疑似stage

辛かった事の書き出し100話

3. 想像stage

書き出しを読み返して、出てきた人、物、

声、音、動き等を単語20個に書き出す。

4. 維持stage:

体験の読み返しと20単語書き出しを継続

第一信号系の重要な3つの特性

1. 世代を経て、適応してきた。

先天的な反射は進化的に変化する。

前後or並列する後天反射を抑制する。

2. 季節の変遷へ適応してきた。

一旦抑制されても放置されると回復する。

放置せず、維持ステージで抑制し続ける。

3. 育った環境へ適応してきた。

過酷な環境で育てば、過敏になる。

体験の読返と20単語書出で、抑制する。¹⁰

条件反射制御法の安全性

- 1) 制御刺激stage 良かった事の書き出し
- 2) 疑似stage 辛かった事の書き出し
- 3) 想像stage 体験読返と20単語書出
- 4) 維持stage 継続

1. 安定状態を招く刺激を開始ステージで設定

冒頭に制御刺激と良好体験の書き出しを行い、制御刺激と環境中刺激を、安定を招くものにする

2. 不安定状態を招く刺激の緩徐な増加

制御 → 疑似 → 想像

体験の書き出しは良の後に辛の順序

3. 治療者による予告と支持。入院や予防策設定。